

ピクシーダストテクノロジーズへ出資し、連携を強化 ～両社のノウハウを活用し、波動制御技術 × 空間・体験創造の取り組みを加速～

連携強化の背景と狙い

丹青社は空間体験の価値を最大化・最適化する専門チーム CMI センターを中心に、2019 年から PxDT との連携を開始しました。2021 年には空間 DX 促進による提供価値向上に向けた業務提携に関する協定書を取り交わし、両社の技術・ノウハウを活かした事業創造、ソリューション開発を続けています。2 社の取り組みの一環として、2023 年 10 月には、空間に関するデータ分析とデザインを掛け合わせ、空間における課題抽出から解決策の提案までをワンストップで行うことで空間価値を最大化するサービス『FAC+ (ファクタス)』の提供を開始するなど、具体的な事業創出に至っています。このような取り組みを更に推進し、PxDT の「波動制御技術 (=感覚のうねりや変化を制御する技術)」を、丹青社の「空間・体験創造 (=あらゆる感覚を内包するメディアづくり)」で活用することで、空間や体験の新たな可能性を追求するため、今回、PxDT の IPO に合わせて出資を決定し、資本業務提携を締結しました。また、PxDT の活動を支援することで、この活動のシーズとなるアカデミア発の技術開発活動をサポートし、将来にわたって空間づくりの未来を支えていくことも目的のひとつとしています。

具体的な取り組み

事業創造

『FAC+』に加え、PxDT の波動制御技術、アカデミア発の技術シーズ、ならびに既にリリース済みの事業を活用した、空間・体験にかかわるサービス、ソリューション、コンテンツ開発を、リサーチ、プロトタイピング、社会実装まで共同で推進し、空間・体験の新たな可能性を追求します。

事業支援

さまざまな企業に対し、両社のシナジーを発揮できるプロジェクトの支援を共同で行います。

人材交流

両社から人材を拠出した共同開発チームを立ち上げ、断続的な研究開発活動を行います。

2社による連携のイメージ



空間・体験の新たな可能性の追求